

2022

12 / 3

SATURDAY

13:00~16:00

開催会場

尚絅学院大学

# 図工・美術で どんな力が身につくの？

## 第3回 図工・美術セミナー in 東北

教育現場をはじめとした急速なデジタル化やAI技術の発展…。

目まぐるしく変化する現代を生きる子どもたちにとって、図画工作科や美術科での学びはどのような力となっていくのでしょうか。

新学習指導要領の施行を受け、目の前の子どもたちがよりよく育っていくよう、ご実践を見直されている先生も多いことと思います。そんな今だからこそ、造形教育の本質について改めて一緒に考えてみませんか？

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中ではありますが、今回は、皆さまと話し合いながら、気づきを深めていけるような場にしたいと考え、感染拡大防止の配慮を十分に行った上で、3年ぶりの対面開催をすることといたしました。

造形教育の意義や、造形教育で本当に育むべき「資質・能力」を見つめ直し、実感し、明日の指導にワクワクする。このセミナーがそんなきっかけになれば幸いです。

主催：公益財団法人 日本文化教育振興財団

共催：尚絅学院大学 造形センター

◎お問合せ先 尚絅学院大学 総合人間科学系 芸術・スポーツ部門  
心理・教育学群 学校教育学類 准教授 相馬 亮  
〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1  
☎ 022-381-3368 ✉ r\_souma@shokei.ac.jp



## プログラム

- 12:30～13:00
- 13:00
- 13:10～14:05

受付  
開会  
実践発表I

小学校

佐藤 哲平先生（宮城県石巻市立和瀨小学校 教諭）  
佐々木 伸先生（宮城県大崎市立古川第五小学校 教諭）

- 休憩 (15分)
- 14:20～14:45
- 休憩 (15分)
- 15:00～16:00

実践発表II

中学校

高橋 憲司先生（青森県弘前市立弘前第五中学校 教諭）

グループワーク

グループに分かれての質疑応答、全体協議を通して、  
図工科・美術科で子どもたちが育むべき力とはどんな力なのか、  
みなさまと交流しながら一緒に考えていきたいと思います。

- 16:00

閉会

## 対象

教職員、大学・大学院の学生

## 定員

先着50名

## 会場案内

### 尚絅学院大学

〒981-1295 宮城県名取市ゆりが丘4-10-1

周辺地図やアクセスの詳細につきましては  
右のコードよりご確認ください。



## 参加費

1,000円

## お申込方法

右のコードを読み取っていただきますと、  
お申込フォームが表示されます。  
必要事項をご記入の上、ご送信ください。

【締切】11/28(月)



## 感染症拡大防止に関する対応

会場では、感染症予防のためマスクの着用にご協力ください。  
また、感染状況によっては開催を中止とさせていただく場合が  
ございます。その際には、お申込時にご登録いただいたメール  
アドレスに予めご連絡いたします。

## 尚絅学院大学造形センターのご紹介

東北地方では、造形・図画工作に関する学びの場が少ないという現状があります。

そのため、このようなセミナーの場を提供することで、本学での教育研究成果を発信し、より高度な教育研究を目指したいと考えております。

これまでの活動といたしましては、2018年に第1回、2019年に第2回セミナーを開催。新型コロナウイルス感染症の拡大以降の2年間は、外部講師によるご講演動画や本センター長・副センター長による対談動画のオンデマンド配信をいたしました。

今後も、本センターが「東北の造形教育の要」となり、その使命を果たすことができるよう、尽力いたします。

※本センター所属教員の研修会等への講師派遣も行ってまいります。

センター長  
相馬 亮 准教授



副センター長  
天形 健 客員教授



本セミナーの過去の開催風景(2019年)